

(1) 附属図書館

① 附属図書館

ア 設置の趣旨（目的）及び組織

附属図書館は、教育及び研究活動に資するため、図書・雑誌・その他の資料を一元的に収集・整理・保存し、本学の学生及び職員の利用に供するとともに、学生の主体的・能動的な学びのための環境の整備と学修支援の実施を目的として設置されている。その管理運営は附属図書館長が行い、事務は学術情報課図書館チームが担当している。

イ 運営・活動の状況

令和元年度に実施した主な事項は以下のとおりである。なお、9月～3月は改修工事のため休館し、休館までの入館者総数は41,823人、開館日数は144日であった。休館中は臨時閲覧室等で縮小サービスを行い、入室者概数は3,700人、開室日数は197日であった。

i) 改修工事

2019年度施設設備概算要求予算により9月～3月に改修工事を行った。1階に書架を増設、2階全域をアクティブ・ラーニングスペースに改修するとともに、講義可能なセミナー室の設置等により学習環境の改善を図った。工事にあたっては、休館中の利用方法やリニューアル後のフロア構成等について、学生を対象とした「附属図書館の改修についての懇話会」を4回開催（19名参加）し、設計、配架計画、工事中の利便性維持（臨時閲覧室の設置等）に活かした。

ii) 基本学術研究図書・学習用図書の収集・保存

全学の教員に対して推薦依頼を行い、それに基づき基本学術研究図書、学習用図書を収集した。また、シラバス掲載図書の網羅的収集の継続とともに、チーム内でも学習用図書、参考図書、寄贈資料、学生リクエスト図書等の選定を行った。これらの収集により令和元年度は2,923冊を受け入れた。

iii) ガイダンス等の学修支援の実施（前期のみ）

新入生向け館内案内ツアー、オーダーメイドガイダンスや授業におけるガイダンスを実施した。

図書館の活性化と学修支援のために「研究基礎講座」と題したミニ講座を実施した。1回30分で前期授業期間の昼休みに合計5回開催した。講師の6割は教員に依頼している。

前期に2階アクティブ・ラーニングスペース melon において、3コマの授業が実施された。

大学院学生協議会の要望を受けての新潟県教員採用試験前の土日4日間の開館時間2時間延長を引き続き実施した。

iv) 図書館利用を促進する取組

学生の参加による選書ツアーを実施し、33冊の図書を購入した。

v) 新潟県立看護大学図書館との相互協力

例年同様、文献複写料金と貸出条件を学内者扱いとするとともに、5月～6月に蔵書交換会を実施し、相互に蔵書の展示・貸出を行った。

ウ 優れた点及び今後の検討課題等

i) 図書館資料購入費

資料購入費が逼迫する中で、9月に学術研究委員会から示された図書館購入資料選定の方向性に

基づき 2020 年外国雑誌，電子ジャーナル及び令和 2 年度国内雑誌の購読内容を決定した。来年度は，パッケージ型電子ジャーナルの 1 社について共同契約が困難であるため，引き続き教育・研究に必要な資料について検討する。

ii) 地域社会への貢献（4 月～8 月のみ）

学外者の令和元年度貸出利用登録者総数は 370 人で，837 冊が貸し出された。

iii) 資料の配置，保存，収納

改修工事に伴って計画した資料の適切な配置変更を次年度も引き続き実施・調整する。

② 運営委員会

ア 設置の趣旨（目的）及び組織

i) 組織設置の趣旨（目的）

附属図書館運営委員会は，附属図書館の運営に関する事項を審議するために置かれている。

ii) 組織の構成及び構成員等

附属図書館運営委員会は，附属図書館長，各学系から選出された教授又は准教授各 1 人，学術情報課長計 7 人により構成され，附属図書館長が委員長を務める。

イ 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

令和元年度は，令和元年 6 月 4 日（火），10 月 10 日（木），11 月 18 日（月）～11 月 25 日（月）（書面審議）及び令和 2 年 3 月 2 日（月）の 4 回開催した。

ii) 審議された主な事項

- ・ 2019 年度附属図書館経費
- ・ 附属図書館の改修について
- ・ 2020 年外国雑誌，電子ジャーナルの契約
- ・ 令和 2 年度国内雑誌の購読希望

iii) 重点的に取組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

附属図書館改修工事について適切に審議し，年度計画の達成に努めた。